令和七年度　沖縄県立図書館歴史講座

須藤利一がみた『南島』の世界

12/14日

13:30~15:30

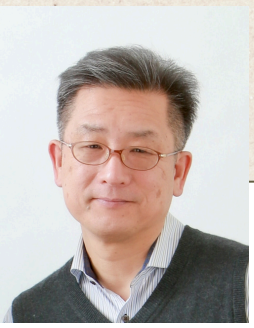
場所：沖縄県立図書館3階ホール

参加無料・お申込み不要

（先着80名）

1940年（昭和15）に台北で生まれた雑誌『南島』は、八重山や宮古から沖縄の歴史や民俗にアプローチする斬新な研究誌でした。その中心にいたのが、台北高校の数学教師・須藤利一です。藁算への関心から与那国島を訪れた須藤は、専門外の民俗や古記録にも意欲的に取り組みます。台北に沖縄文化研究のサークルを作りあげた須藤ですが、戦争のために『南島』はわずか3号で廃刊となりました。本講演では、彼の人間味あふれる足跡を通して、植民地台湾から見えた「もう一つの沖縄学」の可能性を考えます。

須藤利一教授 / 撰寫者：黃皓陽 / 描述文字授權：CC BY 3.0 TW + / 建檔單位：國立臺灣師範大學 @ 國家文化記憶庫 https://tcmb.culture.tw/zh-tw/detail?indexCode=Culture_Object&id=483132



講師　泉水（せんすい） 英計（ひでかず） 氏

千葉県船橋市で育つ。専門は文化人類学。宮古島カンカカリャー調査から沖縄研究を始め、現在はアメリカ世の公衆衛生や地誌調査の歴史を研究中。神奈川大学経営学部教授。編著に『よみがえる沖縄 米国施政権下のテレビ映像—琉球列島米国民政府（USCAR）の時代』（不二出版）、『近代国家と植民地性—アジア太平洋地域の歴史的展開』（御茶の水書房）。

◆問合せ◆
沖縄県立図書館 098－894－5858（代表）担当：平良

県民カレッジ 連携講座